

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1920
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.14, No.8 (1920. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19200801-0157

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

としての経済学「経済価値の研究」「歴史の経済的要素」「経済的文化の発展」及び「経済的文化の極致」の五篇より成れり。皆な朗々誦す可き名篇なり。

先づ本書の序文「眞を求めて」を讀める者は、恐らく著者が流麗暢達の筆に魅せられざるを得ざる可し。縦令ひ、讀み了りて著者が果して何物を與へたるかを疑ふ者なしとせざるに非ざるも、然も讀過しつゝある間は最も快適なる感を以て讀者は著者の世界に悠遊するを得可し。而して第一篇に移るに及びて吾人は又た其の結構の雄大なるに驚かざるを得ず、又た何人も著者の哲學的知識の富麗なるを稱せざるを得ずと雖も、吾人を以て窃に思ふに第一章第一節以下の七節は野村氏自らが科學の本質を體得する上に意義ありしものにして、讀者は寧ろ第二章「經濟學の科學的地位」のみを以て満足する者に非

ざるなきか。而して吾人は著者が本章に於ける論述の比較的簡單なりしを遺憾とする者なり。第二第三及び第四の各篇は何れも最近本誌上に連載せられて、著者を我が經濟學界に紹介したる雄篇なり。本誌の讀者は吾人の贅言を俟つことなくして既に其の眞價を熟知せるなる可し。吾人未だ信不及にして、徒らに外に向つて馳求し、設令ひ求め得るも皆な是れ文字の勝相なるの時、野村氏早く眞正の見解を求めて進まんとす。固より眞眞の日は遠かる可きも、其の努力、困苦、精進は常に報ひられつゝあるなり。氏が若き日の追求を紀念する絶好の著書として此の一卷を同窓諸君に薦む。

(高橋誠一郎)

前號(第十四卷)目次(大正九年七月號)

論 說

- 經營權分配制度を論ず 堀江 歸一
- 遺産相續法と土地の分配(一) 瀧本 誠一
- 社會主義者の「歴史的法律的」資本觀概略 小泉 信三
- 「デヴィッド・ヒューム」の「資本平衡」論(一) 高橋誠一郎

雜 錄

- 産業管理と勞働組合 三邊 金藏
- フォルアールベルグ問題 阿部 秀助
- 九州に於ける炭坑ストライキの近因に就て 俵 麟太郎
- マルクス派の國家觀 加田 忠臣
- 西紀三十三年の經濟恐慌 高橋誠一郎
- 小泉信三著社會問題研究 加田 忠臣
- 本庄榮治郎著經濟史研究 瀧本 誠一
- 瀧本博士著經濟一家言 野村兼太郎

新刊紹介

附 錄

●理財學會記事

●一冊定價金四拾五錢 郵税金壹錢五厘
●一ケ年分金貳圓六拾錢 郵 稅 共
●一ケ年分金四圓八拾五錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正九年七月卅一日印刷納本 每月一回一日發行
大正九年八月二日發行

三田學會雜誌 禁轉載
編輯者 江田 範 保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地 金子 活 版 所

發賣元 株式會社 東京堂書店
東京市神田區表神保町三番地
電話 三〇六二番 三〇六四番
三〇六三番 三〇六五番
三〇六六番 三〇六七番
振替東京 二七〇六

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會
●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す